

ISO/TC 17 直轄規格（黄色ハイライト：進捗中のプロジェクト、肌色ハイライト：予備段階・プロジェクト未承認、灰色ハイライト：前回報告からの変化点）

委員会	規格 番号	版	発行 年度	ステージ 2026/7/6	2026 年度 活動	2027 年度 活動	規格名称（英文） （カッコ内は仮称）	規格名称（和訳） （カッコ内は仮称）	対応 JIS	内容
TC17	ISO 4885	4	2026	60.00	FDIS 完了 改訂発行	—	Ferrous materials — Heat treatments — Vocabulary	鉄鋼製品－熱処理用語	G0201	WG29(コンビーナ中国)が WD 作成、日本意見は、F01.00 分科会に意見照会して反映済。 DIS・FDIS 承認済、2026.7.24 改訂発行予定。
	ISO 4948-1	1	1982	90.92	--	—	Steels — Classification — Part 1: Classification of steels into unalloyed and alloy steels based on chemical composition	鋼－分類－第 1 部: 鋼の化学構成に基づく合金と非合金との分類	—	2024 年 TC17 総会で独が改訂提案、その後の CIB でスコープ拡大（鋼の定義を追加）を伴う改訂を決定。
	ISO/FDIS 4948-1	2	20xx	50.00	FDIS 改訂発行	—	Steels — Classification — Part 1: Classification of steels into unalloyed and alloy steels based on chemical composition	鋼－分類－第 1 部: 鋼の化学構成に基づく合金と非合金との分類	—	WG30（コンビーナフィンランド）で WD 作成。 従来の非合金鋼と合金鋼との分類を、合金鋼を低合金鋼と高合金鋼とに分類し、マイクロアロイ鋼を低合金鋼のサブクラス、ステンレス鋼を高合金鋼のサブクラスとして細分を追加。非合金鋼と合金鋼の境界値を一部修正、日本意見は F01.00 分科会に照会して反映済。 DIS 承認、197 件の DIS コメント処理を実施。一部欧州鉄鋼メーカーからの意見に基づき、マイクロアロイ鋼は主に構造用鋼に適用されることを明記（Dual Phase、TRIP などの自動車用ハイテンを除外）、FDIS 段階へ移行済。
	ISO 4948-2	1	1981	90.60	SR 審議	--	Steels — Classification — Part 2: Classification of unalloyed and alloy steels according to main quality classes and main property or application characteristics	鋼－分類－第 2 部: 鋼の主な品質、特性又は応用性能による合金と非合金との分類	---	次回 TC17 総会（2026.10）で、SR 投票結果（確認 7・改訂 7・廃止 1）を審議し、その後、改訂 PJ 是非を問う CIB を実施予定。 改訂の場合、第 1 部改訂を担当した WG30 の活動範囲を拡大の上、WG30 で検討を進める予定。 日本意見は F01.00 分科会に照会する予定。
	ISO/TS 4949	2	2016	90.93	—	—	Steel names based on letter symbols	鋼の種類の記号の付け方	---	—
	ISO 6929	2	2013	90.93	SR	—	Steel products — Vocabulary	鋼製品－用語	—	2024 年に SR 投票を行い、確認を決定。
	ISO/FDIS 21763	1	20xx	60.00	FDIS 完了 制定発行	--	Guideline for Smart Manufacturing in Iron and Steel Industry	鉄鋼分野のスマート製造に関するガイドライン	---	2022 年 TC17 総会で中国が規格制定を提案、WG28（コンビーナ中国）で WD 作成、CD 意見照会の後、DIS 承認。 なお日本は、鉄連・AI 特別 Gr が参加し、日本意見反映済。 FDIS 承認済、2026.7.22 制定発行予定。
	ISO/PWI 25690	1	20xx	00.60	NP 投票 PWI 登録	(PWI)	Steel slag-Determination of the expansion-Immersion expansion method	鉄鋼スラグ－膨張係数－水膨張試験方法	A5015 道路用鉄鋼スラグ	2024 年 TC17 総会で中国が規格制定を提案。 中国の Proposed draft（水膨張試験方法、JIS A5015 の規定も含む）に基づき、NP 投票の結果、賛成かつ参加国不足によって PJ 未承認となり、PWI として登録。日本は、鐵鋼スラグ協会に意見照会して意見付き賛成・積極参加で投票） TC 17 総会で提案内容を精査するために SG 4 を設置して検討することが提案され、総会後の CIB 実施で設置承認済。日本（鐵鋼スラグ協会）・中国・イランがエキスパート参加。 SG 4 の検討・提言後に、TC 17 で 2 回名 NP 投票実施予定。
	ISO/AWI TR 26176	1	20xx	20.20	WD CD	DTR	Recycled iron-steel raw materials	リサイクル可能な鉄鋼原料	（精査要）	2024 年 TC17 総会で中国が TR 制定を提案。 中国の Proposed Draft（スクラップ関連の用語の定義、スクラップの品質分類など）に基づき、PJ 承認、WG31 で WD 検討開始。日本は鉄連・スクラップ国際規格 WG が対応。 TC 17 総会で CD 追加を決定、今後 CD・DTR 実施予定。